

## 環境とエネルギーで社会へ貢献 する企業を目指して



白倉 三徳 (しらくら みつのり)  
富士電機システムズ株式会社  
取締役社長

新年あけましておめでとうございます。

2008年を振り返ると、電機システム部門では、事業の拡大・強化を目指して、積極的な外部パートナーとの協業や事業構造改革を行い、大きな変化があった年でした。

まず、2008年4月に、日本ガイシ株式会社と水環境事業の合弁会社、メタウォーター株式会社を設立しました。6月には、今後のオートメーション分野の事業伸長のために、株式会社エフ・エフ・シーから富士電機グループ向け事業に従事していた人材を富士電機システムズ株式会社(FES)に組み入れております。

そして、旧富士電機機器制御株式会社(旧FCS)のシステム機器部門をFESに統合して新FESが7月に誕生し、また、旧FCSの受配電・制御機器部門とシュナイダー・エレクトリック社の合弁会社として新FCSが10月に誕生しました。

当部門は、社会・産業のインフラ構築に貢献してきたシステムソリューション製品と、業界トップレベルのコンポーネント機器を提供する事業を展開しております。牽引事業となるのは、パワーエレクトロニクス技術をベースとしたドライブ事業と、特徴あるセンサ技術とソリューションを組み合わせたオートメーション事業です。国内外にわたり、社会・産業分野のプラント、設備の効率的な運営・運用と環境・安全の実現を可能とする製品およびトータルソリューション&サービスを提供しています。

2008年の事業構造改革により、牽引事業の徹底強化を図るとともに、①事業統合による営業・技術にわたるシナジー効果の最大化(特に、市場ニーズを早期に把握し素早く対応することを目指す)、②研究開発力をさらに強化し付加価値創造機種を創出、③ものづくり強化(ロスコスト

撲滅、最適生産体制・拠点整備)、④経営の見える化による経営体質の強化(ローリングによる業績予測およびモニタリング強化)、について推進しています。

各分野の環境とエネルギーへの貢献に関しては、以下を目指します。

ドライブ事業分野では、2008年、大きく省エネルギーに貢献する高圧インバータの中国向け新機種を開発し製品化しました。また、中国における販売・生産拠点を整備しました。今後、国内、中国・アジア地域へ広く展開していきます。インバータやサーボシステム、可変速ドライブ、UPSなどの製品でお客さまのエネルギー利用率最大化に貢献します。

オートメーション事業分野では、2008年、各国の環境規制強化で需要が拡大している排出ガス分析用のレーザー方式ガス分析計の測定成分拡大機種を市場に投入しました。電力系統の電力流通監視制御、IDC(インターネットデータセンター)の省エネルギー、プラント全体のエネルギー最適化、見える化システム(センサを含む)、安全・安心などの実現に、特徴ある計測制御・安全技術で貢献します。

また、低炭素社会実現のための重点技術として新エネルギー利用技術があります。これに関して、当社独自の太陽電池、地熱発電、燃料電池で貢献します。

世界経済は、米国発の金融危機により不透明感が増大し、事業環境は厳しさを増しています。企業使命を全うするために、オープンマインドで、俊敏にアグレッシブに行動する、コミュニケーションを大切に、活発で制約のない議論をする、ということ徹底し、強固な事業、強固な企業風土作りを進めていきます。



\*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する  
商標または登録商標である場合があります。